

健康いきいき職場づくりを目指して

生産性新聞は座談会「健康いきいき職場づくりを目指して」を都内で8月に開催した。同座談会は12月上旬に生産性出版から刊行される『健康いきいき職場づくり・現場発組織変革のすすめ』に収録するため開かれたもので、川上憲人・東京大学大学院教授、守島基博・一橋大学大学院教授（兼司会）、島津明人・東京大学大学院准教授の3氏が職場で何が起きているか、健康いきいき職場づくりの活動をどう展開するなどを議論した。その概要を掲載する。

日本で今、何が起きて いるのか



宋皇其博氏

実績評価が人の心にも影響

守島 働き方と働きかつて、これも職場の一
せ方という言葉をもう体感の醸成を難しくし
少しがみ碎いて言うと ている。これが今日の
どういうことか。
川上 一つの例とし を難しくしている課題
て、これまで、職場 の一つだと思ってい
に多少不慣れな人や る。

トップの理解と協力を得るのが重要

守島私たち3人から、精神障害などの労働災害や過労自殺の「健康いきいき職場づくりフォーラム」(以下「フォーラム」、http://ikiiki-wp.jp)の活動を垂れじゅうじゅう、が進みうつてきこが、民事訴訟を未然に防止するためのリスクマネジメントとして、メンタルヘルスの取り組み

活動を進めてきたが、今日はそれを題材にし、一つ、日本の職場で何が起こっているのか、健康いきいき職場づくりは経営革新や企業組織の抱える問題にどう応えられるか、フォームを今後どういう方向に進めていきたいのか、の3点について考

みたい。

こうした働き方や働くせ方にもう少し踏み込

んで話をすると、残念ながら、職場のメンタルヘルスの不調、心の健康問題は決して減ってはいない。その背景として、この10年ぐらいの働き方に今、倒れそうで困つた経験がある人が増えてきた。それが、企業の働きかせの変化と企業の働きかせの変化があるのではないかと感じている。職場に慣れない人が他

の人の助けを得られず、メンタルヘルス不調

それでは、まず川上先生から、日本の職場で何が起きているのかについてのお考えをお聞きしたい。

川上 日本の職場では、2000年ぐらい

答：著者がそういうことに注目してメンタルヘルスの取り組みを行っていかないと、今後も職場のメンタルヘルスの問題は解決できない。

東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野教授

川上 憲人

員規模10000人ぐら
いの事業所を担当し、
そのシステムづくりか
ら個人に向けた対策、
組織に向けた対策、管
理監督者研修を行っ
た。ところが、当時は
事業所トップの理解と
協力がなかなか得られ
ず、最初は非常に苦労
した。そこで、トップ
の方々にメンタルヘル
スがいかに大事かとい
うメッセージをどう伝
えればいいかを考え
た。一つはメンタルヘル
スで「社会化」の機
能が働かなくなつた
メール等によるバーチ
ャルつながりが多い
し、多様な雇用形態の
人がいる。職場の隣の
人は全然違ったワーカー
スケジュールで動いて
いて、みんなで顔を合
わせる「職場」ではな
くなつてきてる。さ
うに効率化がすごく推
進され、職場に存在し
た「組織スラック」(余
裕やのり代)がなくな
った場合でこんなこ
とを上司に言うと、お
まえ怒られるぞとかい
うこと、飲みに行つ
たときに先輩に教えて
もらう機会が少なくな
ったことがすごく大きい
ように思う。働く人も
後退しているかもしれない
ないが、それよりも、
職場で社会化の機能が
うまく働かなくなつて
きたことが一番大きい
のではないか。

その二つを企業にどうないのではないかといふ。多分そういう先輩關係が社会化を遅らせていくのではない。多分そういう先輩關係が社会化を遅らせていくのではない。多分そういう先輩關係が社会化を遅らせていくのではない。
伝えれば理解や協力がう指摘もあるが、その後輩關係が社会化を遅らせていくのではない。
得られるかどうかと云ふ点はどうお考えか。
を考えてきた。
守島 今の学生を見
守島 つらつぱい
守島 つらつぱい

今島人氣管理といつても何となく人間がいるからといって、それがうまいことがうまいことがうまいことがあるときには、必ず上の左側が0年未満のものである。

洋服専門の職場を上轉してみたいといつた僕が、今でもこの分野で1年半勤務したことがあります。そこで、その経験をもとに、自分なりにアドバイスをさせていただきます。

0年あたりから、日本企業の職場力や現場力が、た。でも昔は、先輩が新人をちょっと無理やうも10年経つと、10年前に自分が何がわから

が結構落ちてきている。り飲みに連れていくってなかつたかがわからなくな、という感覚をもつ。話をして、組織のことくなる。教育は相手の

ようになつた。私は、を伝えていくといつ立場に立つて教えてあ
職場が弱体化するのではなく、人を『社会化』す
た、人を『社会化』すべきないとうまくいかな

経営の視点から見て、
も、働く人にとっても、
る作業が企業の中で結
構行われていた。それ
い。比較的年齢が若い
先輩後輩関係がなくな
る。

良いことではないといがだんだんなくなつてったというのは、社会う認識をずっと持つてきた。パワハラやセク化という意味でもコミ

いて、現在に至ってい ハラの問題もあるし、ユニケーションという
る。 いろんな理由がある中 意味でも人材育成とい

じつした変化の背景で、そういう“ちよつとして今の職場では、と無理やりの社会化”う意味でも非常に重要な話だらう。

